

道路巡視業務委託特記仕様書

1 適用

本特記仕様書は、一般県道甲奴停車場線外 道路巡視業務委託に適用する。

2 業務の実施範囲

業務の実施範囲は、三次市が管理する道路の内、南部の 県・市道 63,694.6m (巡視延長) を原則とする。(別紙「道路巡視路線図」に表示。)

3 業務名称

業務名称は、「道路巡視業務」とする。

4 「道路巡視業務」の内容

(1) 業務内容は、次に掲げる業務とする。

- ① 整備パトロールの実施
- ② 道路の状況把握と異常の発見, 軽易な異常箇所の応急措置及び道路の美化(投廃物等の除去)
- ③ 各種情報提供(住民からの情報, 不法占用等の状況)
- ④ 実施結果の報告

(2) 前項の業務は、別に定める「道路巡視業務実施要領」に基づき実施すること。

(3) 巡視対象路線間の移動において、三次市が管理する道路(市道)に異常箇所を発見した場合は、応急措置等巡視路線と同様の対応を行うこと。(異常箇所整理表により報告すること。)

(4) 本業務における実施日数については、毎月4回の年間48日の通常業務と、前項の対応を行った場合の措置として4日分(0.5h×8件/月×12ヶ月)の追加業務とを合わせた52日間を見込んでいる。

5 業務の実施に当っては、道路法、道路交通法その他の関係法令を遵守すること。

6 整備業務に使用する車は、ダンプ型またはトラック型の普通貨物自動車で県公安委員会から道路交通法施行令第14条の2第2号に規定する道路維持作業用自動車の指定を受けるものとし、仕様は、次のとおりである。なお、指定に係る車の改造等を新たに行う必要がある場合は、別途協議すること。

- (1) 黄色回転灯の設置(道路交通施行令第14条の3, 車両の保安基準第49条の2)
- (2) 車体を黄色に塗色(道路交通法施行規則第6条の2)
- (3) 車体の両側面及び後面に幅15cmの帯状かつ水平白色塗色(同上)

7 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、またはその内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。